

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学中期目標新旧対照表

変 更 後	変 更 前
<p>目次 (略) (基本的な目標)</p> <p>公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学(以下「法人」という。)は、大学を設置し、及び管理・運営することにより、地方都市における落ち着いた教育環境のもと、学校法人東京理科大学との姉妹校関係を維持強化しつつ、<u>薬工系</u>の基礎的知識と専門的な学術を教育・研究するとともに、地域に根差し、地域社会の発展に寄与する「地域のキーパーソン」の育成に貢献することを目的としている。</p> <p>今後、公立化により新しく生まれ変わる大学として地域創生における「知のローカル・ハブ」という役割を果たしていくに当たって、</p> <p>(1) 技術の進歩に素早く対応できる「確かな基礎学力」と「高度な専門知識」を身につけ、さらに深い教養と学際領域の幅広い知識、創造力と課題解決能力を兼ね備えた、世界的視野で物事を思考できる人間性豊かな科学技術者を育成する。</p> <p>(2) 地域における知(地)の拠点として、さらなる産学官連携による地域社会と地域産業の振興、発展に寄与する社会貢献機能を備えた個性ある大学へと進化する。</p> <p>の2つを基本姿勢として、今後の大学運営を行っていく。</p> <p>この基本的な目標の実現とあわせ、着実に成果を挙げるための安定した体制、仕組みを早期に確立することを目指して、次のとおり中期目標を定める。</p>	<p>目次 (略) (基本的な目標)</p> <p>公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学(以下「法人」という。)は、大学を設置し、及び管理・運営することにより、地方都市における落ち着いた教育環境のもと、学校法人東京理科大学との姉妹校関係を維持強化しつつ、<u>理工系</u>の基礎的知識と専門的な学術を教育・研究するとともに、地域に根差し、地域社会の発展に寄与する「地域のキーパーソン」の育成に貢献することを目的としている。</p> <p>今後、公立化により新しく生まれ変わる大学として地域創生における「知のローカル・ハブ」という役割を果たしていくに当たって、</p> <p>(1) 技術の進歩に素早く対応できる「確かな基礎学力」と「高度な専門知識」を身につけ、さらに深い教養と学際領域の幅広い知識、創造力と課題解決能力を兼ね備えた、世界的視野で物事を思考できる人間性豊かな科学技術者を育成する。</p> <p>(2) 地域における知(地)の拠点として、さらなる産学官連携による地域社会と地域産業の振興、発展に寄与する社会貢献機能を備えた個性ある大学へと進化する。</p> <p>の2つを基本姿勢として、今後の大学運営を行っていく。</p> <p>この基本的な目標の実現とあわせ、着実に成果を挙げるための安定した体制、仕組みを早期に確立することを目指して、次のとおり中期目標を定める。</p>

<p>第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織</p> <p>1 (略)</p> <p>2 教育研究上の基本組織 次のとおり、学部及び大学院を置くものとする。 工学部：機械工学科、電気工学科、応用化学科 <u>薬学部：薬学科</u> 大学院：工学研究科</p> <p>第2・第3 (略)</p> <p>第4 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>1 (略)</p> <p>2 教育研究組織の見直しに関する目標 <u>大学が、その特色を生かしつつ、学問の進展や社会の要請に対応し、より効果的、効率的な教育研究活動を行うことができるよう、教育研究組織について、必要に応じ適切な見直しを行う。</u></p> <p>3・4 (略)</p> <p>第5～第7 (略)</p>	<p>第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織</p> <p>1 (略)</p> <p>2 教育研究上の基本組織 次のとおり、学部及び大学院を置くものとする。 工学部：機械工学科、電気工学科、応用化学科</p> <p>大学院：工学研究科</p> <p>第2・第3 (略)</p> <p>第4 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>1 (略)</p> <p>2 教育研究組織の見直しに関する目標</p> <p>(1) <u>教育研究組織の見直し</u> 大学が、その特色を生かしつつ、学問の進展や社会の要請に対応し、より効果的、効率的な教育研究活動を行うことができるよう、教育研究組織について、必要に応じ適切な見直しを行う。</p> <p>(2) <u>薬学部の設置</u> <u>平成30年4月を目標に、新たな理系領域の体制づくりとしての薬学部の設置に向けて取り組んでいく。</u></p> <p>3・4 (略)</p> <p>第5～第7 (略)</p>
--	--